

科目名	PM 検定講座 I			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講時期	2期
担当教員	宮本 真由美	企業 連携	—	科目	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	パターンメイキング技術検定試験3級実技試験に向けて、ブラウスの製図及びトワールの組み立てを行う。										
到達目標	ブラウス・シャツの製図方法の理解トワール、シルクピンの扱い方を学び、検定課題であるブラウス、シャツの組み立て手順が理解できるようになる。										
授業計画と内容											
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8	トワールの説明、地直しの方法										
9	ブラウスパターントレース										
10	PM 検定課題のブラウス A 平面製図										
11	PM 検定課題のブラウス B 平面製図										
12	トワールの説明、地直しの方法／ブラウスパターントレース										
13	ブラウスパターントレース										
14	ブラウス A 組み立て提出										
15	ブラウス B 組み立て提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	5%	15%					
使用教材・教具	製図用具 洋裁道具一式										
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	アイテムソーイングⅠ			分類	専門	形態	演習	単位数	4	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	4	曜日	木
授業内容	パターンゼミと連動したパターンメイキングを使用しながら、スカート・シャツ・パンツ縫製を指定教科書を使用して制作する。										
到達目標	基本アイテムのスカート・シャツ・パンツの製図から縫製までの工程がおこなえるようになる。洋裁道具・職業用ミシン・工業用ミシン・ロックミシンの管理、操作がおこなえるようになる。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	授業説明・オリエンテーション／ミシン講習										
3	フレアスカート・裁断										
4	.縫製										
5	.縫製										
6	オープンカラーシャツ・製図										
7	.裁断、印つけ・芯貼り										
8	.縫製										
9	球技大会										
10	.縫製・仕上げ										
11	ストレートパンツ・製図										
12	.裁断、印つけ・芯貼り										
13	.縫製										
14	.縫製・仕上げ										
15	前期試験、課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	100%	0%	0%	0%					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫用具 ・筆記用具、テキスト 										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	ウォーキング I			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	橋本典子	企業 連携	—	科目	FD	学年	1年	コマ数	1	曜日	火
授業内容	身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学ぶ。										
到達目標	進級制作卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用しランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	昨年度ファッションショーのDVDを見る										
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習										
4	基本的なウォーキング①										
5	基本的なウォーキング②										
6	半ターンの練習①										
7	半ターンの練習②										
8	Aターンの練習①										
9	Aターンの練習②										
10	Bターンの練習①										
11	Bターンの練習②										
12	撮影（今の状態を確認・修正）										
13	ポージング①										
14	ポージング②										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	0%	30%	70%					
使用教材・教具	スニーカー、ジャージ、女性はヒールの靴										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要		—							

科目名	色彩士検定3級			分類	基礎	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	村木 威文	企業連携	—	科目	FD	学年	1年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	テキスト「Color Master (Basic)」を用い、色について基礎知識を学習し、色彩士検定3級の受験申し込みから受験までを行う。										
到達目標	将来就くであろうデザイン業界の仕事の中でその必要性に応じ正確に「色彩」について理解することができる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション／色のなりたち①										
2	色のなりたち②										
3	混色①										
4	混色②										
5	色の表示方法①										
6	色の表示方法②										
7	色の知覚的効果①										
8	色の知覚的効果②										
9	色の心理的効果①										
10	色の心理的効果②										
11	色の心理的効果③										
12	色彩調和										
13	模擬試験										
14	筆記試験										
15	筆記試験の振り返り／まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	● %	40 %	5● %	10 %					
使用教材・教員	教科書：カラーマスター (Basic) その他：色彩士検定3級受験の対策問題集 Vol.4										
履修場の注意	色彩士検定3級受験は、卒業時までには必須。検定対策の講義授業のため出席率及び普段の授業態度を重視する。										
実務経験のある教員による授業科目	●	実務経験概要	企業依頼のデザイン制作において、色彩計画を展開した実績で授業を行う。(色彩士検定1級取得者)								

科目名	修学基礎			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講時期	前期
担当教員	花田 洋通	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	自己理解・他者理解を行い、学校生活での目標設定を定めていく。										
到達目標	“この授業では学校生活を円滑に送れるようにルールやシステムの理解を促すとともに就職を意識するための第1歩として社会人基礎力の必要性を伝えていくことを目的としている。”										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	年間スケジュール 試験・単位・進級について										
3	1年間の目標 前期の目標 行動計画シート										
4	キャリア教育について 進路・就職支援について										
5	未来ノート 自己理解										
6	未来ノート 自己理解										
7	未来ノート 自己理解 心の4つの窓										
8	未来ノート 自己理解 心の4つの窓										
9	未来ノート 過去を振り返ろう										
10	仕事理解										
11	ビジネス能力検定3級 検定対策講座										
12	ビジネス能力検定3級 検定対策講座										
13	ビジネス能力検定3級 検定対策講座										
14	ビジネス能力検定3級 検定対策講座										
15	ビジネス能力検定3級 検定対策講座										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	85 %	● %	15 %	● %					
使用教材・教具	学生便覧・未来ノート・ビジネス能力検定3級教科書を使用										
居休場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	ディテールソーイング			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	向江 かおり	企業 連携	—	材料	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	各種ポケット、衿、各種ファスナー付けなどを行う										
到達目標	縫製についての基礎知識（縫い代付け、裁断、縫製手順）が理解できるようになる。各種専門道具の使い方がわかるようになる。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	手始末（ボタン付け・切り戻し・まつり縫い）										
3	ミシン縫い①（直線縫い）										
4	ミシン縫い②（曲線縫い）										
5	トップス（裁断）										
6	トップス（貼りポケット四角・丸）										
7	トップス（コンシールファスナー付け）										
8	トップス（見返しつけ）										
9	トップス（裾始末、見返し始末）										
10	オープンカラーシャツシャツ衿（裁断・芯貼り・本縫い）										
11	ファスナー付け・パンツ（裁断・芯貼り・本縫い）										
12	箱ポケット（裁断・芯貼り・本縫い）										
13	パンツあき（裁断・芯貼り・本縫い）										
14	フラップポケット（裁断・芯貼り・本縫い）										
15	まとめ（ファイル提出）										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	70%	0%	15%	15%					
使用教材・教具	縫製道具一式、製図道具一式										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画								

科目名	デザイン概論			分類	基礎	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	田頭愛理	企業連携	—	科目	FD	学年	1年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	アイデアを形にするためのデザインの基本的考え方や手段を学ぶ。自身のめざしたいデザインの特徴や社会の関わり方を学ぶ。										
到達目標	制作の中でアイデアを形にするための考え方や情報収集などのプロセスを見つけることができる。										
授業計画と内容											
1	新入生研修										
2	授業概要説明 デザインとは何か 芸術とデザインの違い										
3	デザイン思考の方法①										
4	デザイン思考の方法②										
5	デザイン思考のトリセツ①										
6	デザイン思考のトリセツ②										
7	デザイン思考のトリセツ③										
8	表現スキル①										
9	表現スキル②										
10	表現スキル③										
11	表現スキル④										
12	表現スキル⑤										
13	レポート制作										
14	レポート制作										
15	レポート制作										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	10%	0%	80%	0%	10%	0%					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書／はじめてのデザイン思考 基本 Book& 実践 CARDS ・レジュメをまとめるファイル (A4 サイズ) ・筆記用具 										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	●	実務経験概要	デザイン会社でのグラフィックデザイン制作の経験を活かして授業を行う。								

科目名	パターンゼミⅠ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	宮本 真由美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	人体を用いて各部位の採寸を学んだ後、1/4縮尺原型と縮尺定規を使用し、シャツ、パンツなどを製図。人体は丸みを帯びている為ダーツを取りながら体に沿ったパターンを作ります。その為、ダーツ位置やダーツ移動を学びます。										
到達目標	パターンを制作する上で、人体用語や基礎的なパターン用語が理解できるようになる。縮尺パターンを引く事によりパターンを引く手順が理解出来る。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	フラットパターンの知識/パターンについて・原型作成										
3	人体測定/縮尺道具の使い方										
4	身頃・袖・スカート原型の名称										
5	レディースオープンカラー半袖シャツ (身頃・衿)										
6	レディースオープンカラー半袖シャツ (袖)										
7	メンズオープンカラー半袖シャツ (身頃・衿)										
8	メンズオープンカラー半袖シャツ (袖)										
9	パンツについてⅠ										
10	パンツについて (前パンツ・後ろパンツ)										
11	身頃原型ダーツ操作によるデザインについて										
12	フレアスカート (展開による)										
13	フレアギャザースカート (展開による)										
14	ヨーク切り替えのフレア・ギャザースカート (展開による)										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	60 %	35 %	5 %	0 %					
使用教材・教具	パターンファイル、プロジェクトペーパー、はさみ、カッター、縮尺定規、パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にてMD業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	ファッションビジネス検定Ⅰ			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	金子 千恵	企業連携	—	科目	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定3級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定3級問題集」にて復習をおこなう。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定3級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
授業計画と内容											
1	一年生研修										
2	ファッションビジネスの定義と特性										
3	繊維ファッション産業の流れ										
4	ファッション生活・ファッション消費										
5	消費者行動とファッション表現										
6	ライフスタイルとファッション										
7	お客様の購買行動										
8	アパレル産業の概要										
9	ファッション小売産業の概要										
10	マーケティングの基礎知識										
11	マーケティングの分類方法										
12	ファッションマーチャндаイジング										
13	ファッションマーチャндаイジング										
14	ファッション流通										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	20 %	60 %	20 %	● %					
使用教材・教具	実務家授業 形態										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	●	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web デイレクション担当								

科目名	ヘア・メイク・ネイル I		分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期	
担当教員	浅田 弘美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	ヘア・メイク・ネイルの基礎知識を学習。相モデルでメイクアップの技術をミニつけていきます。										
到達目標	ベーシックメイクアップ 簡単なヘアアレンジ ネイルアート作品										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	メイクアップ基礎1 皮膚の仕組み、肌質の見分け方、用具の種類										
3	メイクアップ基礎2 クレンジング～ スキンケア～ ファンデーション										
4	メイクアップ基礎3 ベースメイクアップ 顔の分析 立体作り										
5	ヘアアレンジ基礎1 ヘアピンの留め方、ゴムの結び方、逆毛										
6	ヘアアレンジ基礎2 編み込み、シニヨン										
7	イメージ別メイクアップ (キュート)										
8	イメージ別メイクアップ (エレガント)										
9	イメージ別メイクアップ (フレッシュ)										
10	イメージ別メイクアップ (クール)										
11	メイクアップ自由作品										
12	ネイルアート基礎										
13	ネイルアート基礎										
14	ネイルアート基礎										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	10 %	30 %	● %	10 %	30 %					
使用教材・教具											
居休場の注意	相モデルでのメイクアップ実習。1・2・3年生 複式授業										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ベーシックデザイン（クロッキー）			分類	基礎	形態	形態	演習	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	大橋 裕子	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	水		
授業内容	1回5～15分程度でクロッキーを重ねていく。対象物をよく観察し、重心・バランス・骨格等を捉えた表現について学ぶ。人物の場合は、相互モデルで行う。野外の場合は風景や植物を対象とする。												
到達目標	短時間で捉えた対象物のイメージを、生き生きとした線で表現できるようになる。												
授業計画と内容													
1	クロッキーとは 鉛筆での表現について												
2	立ちポーズ 全身プロポーション												
3	立ちポーズ												
4	立ちポーズ アイテム												
5	立ちポーズ アイテム												
6	座りポーズ												
7	座りポーズ												
8	座りポーズ												
9	野外クロッキー												
10	野外クロッキー												
11	着彩クロッキー												
12	着彩クロッキー												
13	群像、複数人数												
14	群像、複数人数												
15	群像、複数人数												
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による						
100%	● %	● %	85 %	● %	15 %	● %							
使用教材・教具	クロッキー帳、鉛筆、カッターナイフ、水彩絵具												
居休場の注意	必要な画材を忘れずに持参すること。制作に丁寧に向き合うこと。												
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	作家活動のキャリアを活かし、イラスト制作に関する授業を行う。										

科目名	ベーシックデザイン（色彩）		分類	基礎	形態	演習	単位数	2	開講期	前期	
担当教員	河本 恵美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	テキストを用いて各單元ごとに知識を身につけていくとともに一單元課題で理解を深める										
到達目標	色彩は検定3級合格レベルの基礎知識を習得し、手作業による完成度の高い作品を制作する										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	自己紹介のための自由な色彩表現										
3	色の本質										
4	表色系										
5	色立体										
6	p.c.c.s トーン										
7	混色（加法混色と減法混色）										
8	色の視覚効果・視認性										
9	色名										
10	色の対比・同化										
11	色彩心理										
12	色出し										
13	配色調和										
14	配色調和										
15	配色調和										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	95 %	● %	5 %	● %					
使用教材・教具	アクリルガッシュ・配色カード・色鉛筆等・黒ペン（マッキー PIGMA 等）										
履修場の注意	課題の内容を文章で充分理解を深め、締め切りを守って作品を全て提出する										
実務経験のある教員による授業科目	●	実務経験概要									

科目名	マテリアル			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講時期	1期
担当教員	宮本 真由美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	繊維、糸、布の構成加工等の特性を学び、布に関する基礎知識を習得する。										
到達目標	繊維、糸、布の構成、加工など布の特性を学ぶ事で、服の用途によって素材の使い分けができるようになる。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	マテリアルとは 天然繊維、化学繊維の種類について										
3	織物の三原組織について										
4	繊維の性能、加工について										
5	糸の種類、太さについて										
6	織物の名称、編み物の種類										
7	織物の名称、編み物の種類										
8	マテリアル試験（筆記）										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	40 %	40 %	5 %	15 %					
使用教材・教具	筆記用具										
居休場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にてMD業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	ライフデザイン①			分類	実務(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真・金子 千恵	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	学校のルールなどについてのガイダンス、個人面談、行事イベント企画										
到達目標	学校生活をスムーズに行うために学校ルールを把握する、学校行事などに集団で取り組む協調性を養う。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	学校生活のためのガイダンス・グループワーク										
3	グループワーク										
4	個人面談1										
5	個人面談2										
6	個人面談3										
7	球技大会準備1										
8	球技大会準備2										
9	球技大会										
10	球技大会片付け										
11	夏季休暇中の課題について										
12	夏季休暇中についての事前指導										
13	学園祭準備1										
14	学園祭準備2										
15	学園祭準備3										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	40%	●%	20%	20%	●%	20%					
使用教材・教具	縫製道具一式・製図道具一式										
履修場の注意	クラス全体で動かなければならない内容となる為、全員必ず履修すること										
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	ファッションビジネス検定Ⅱ			分類	専門	形態	講義	単位数	0.5	開講期	3期
担当教員	金子 千恵	企業 連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定3級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッション造形科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定3級問題集」にて復習を行う。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定3級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
	授業計画と内容										
1	ファッション造形科目.1										
2	ファッション造形科目.2										
3	ファッション造形科目.3										
4	ファッション造形科目.4										
5	ファッション造形科目.5										
6	検定対策1										
7	検定対策2										
8	テスト										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	60 %	20 %	0 %					
使用教材・教員	ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト										
履修者の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・webディレクション担当								

科目名	PM 検定講座Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3期
担当教員	宮本 真由美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブックに沿って、より専門的なファッション造形知識・技術と工業パターンメイキングに関する知識と技術を学ぶ。										
到達目標	パターンメイキング技術検定試験3級合格										
授業計画と内容											
1	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック P 24～29										
2	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック P 30～263										
3	工業パターン縫い代付け										
4	グレーディングについて										
5	3級パターンメイキング技術検定試験対応①										
6	3級パターンメイキング技術検定試験対応②										
7	3級パターンメイキング技術検定試験対応③										
8	3級パターンメイキング技術検定試験対応④										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	5%	15%					
使用教材・教具	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック、筆記用具、製図用具、洋裁道具一紙										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	アパレル CAD I			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	向江 かわり	企業 連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	基本操作の学習。コンピュータの操作方法・システムの流れを説明。簡単な囲み製図で服の形を理解していく。										
到達目標	手でパターンをひくように CAD（コンピュータ）を使ってパターン制作ができるように理解していく。										
授業計画と内容											
1	アパレル CAD の基本操作方法										
2	ハイパーパターンメイキングとは・・・										
3	ポケット・フレアースカート作成										
4	ハイパーパターンメイキング										
5	①胸当付エプロン										
6	・線の引き方										
7	②ワンピース										
8	・フリップコピー方法										
9	③切替スカート										
10	・抜き取り方法										
11	④フード付ブルゾン										
12	・カーブルーラーの使い方										
13	⑤シャツ・パンツ（パジャマ）										
14	・コンパスの使い方										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	45 %	15 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	返却したパターンファイルは品番順にファイリング										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画								

科目名	インターネット販売I			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	金子 千恵	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	インターネットでの販売サイトを構築する。企画書作成し、HP デザインから商品企画まで行う。IT 科と合同企画授業										
到達目標	オリジナル商品企画から HP デザインまでを通し販売サイトを開設。IT 科の専門知識を共有し合同授業でのディスカッションなどで協調性を身につけ、仕事の流れを把握する										
授業計画と内容											
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	ディスカッション										
10	インターネット販売サイト企画書										
11	合同企画プレゼン										
12	合同グループワーク										
13	企画書修正										
14	仕入れ計画1										
15	仕入れ計画2										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	30 %	30 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	キャリアデザイン			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講時期	後期
担当教員	花田 洋通	企業 連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	ビジネス能力検定3級 キャリア形成に必要な職業分野の理解										
到達目標	社会の仕組み、ルール、マナーを知ること。専門分野に対する理解と考察を深める。										
授業計画と内容											
1	ビジネス能力検定3級対策										
2	ビジネス能力検定3級対策										
3	ビジネス能力検定3級対策										
4	ビジネス能力検定3級対策										
5	ビジネス能力検定3級対策										
6	ビジネス能力検定3級対策										
7	ビジネス能力検定3級対策										
8	ビジネス能力検定3級対策										
9	クリエイティブな仕事への理解										
10	クリエイティブな仕事への理解										
11	クリエイティブな仕事への理解										
12	企業研究										
13	企業研究										
14	社会人の収入と支出について										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	85 %	● %	15 %	● %					
使用教材・教具											
居休場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要									

科目名	進級制作Ⅰ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	長船 圭二・金子 千恵	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	6	曜日	月
授業内容	進級制作ファッションショーに向けた制作を実習形式でおこないます。ファッションショー発表のための企画立案からスタイリングまで学びます。										
到達目標	重衣料（アウター・コート類）を基本としたコーディネート企画表・デザイン画（B4）、裏地なしパターンメイキング（縮尺・実寸）、柄合わせ裁断、印つけ、縫製がおこなえるようになる。										
授業計画と内容											
1	ディスカッション・デザイン画制作										
2	スタイリングテーマ企画表制作. 1（デザイン画）										
3	スタイリングテーマ企画表制作. 1（ハンガーイラスト）										
4	縮尺パターン制作										
5	実寸パターン制作. 1										
6	実寸パターン制作. 2										
7	仮縫い裁断・サンプル縫製. 1										
8	仮縫い裁断・サンプル縫製. 2										
9	フィッティング										
10	本裁断・縫製. 1										
11	本裁断・縫製. 2										
12	本裁断・縫製. 3										
13	本裁断・縫製. 4										
14	本裁断・縫製. 5										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	0 %	70 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	デザイン画表現Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	8頭身のプロポーション、顔や手、足などの描き方、デザイン画の着色の仕方など。										
到達目標	8頭身のプロポーションを描くことが出来、素材別にオリジナル作品を制作出来るようになる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション／プロポーション模写										
2	8頭身プロポーション										
3	8頭身プロポーションのバリエーション、手腕足脚の描き方など。										
4	素材別デザイン画作成／プロポーション、発想、ラフ案〈シースルー〉										
5	素材別デザイン画作成／下がき										
6	素材別デザイン画作成／着色										
7	素材別デザイン画作成／着色										
8	素材別デザイン画作成／プロポーション、発想、ラフ案〈デニム、キルティング〉										
9	素材別デザイン画作成／下がき										
10	素材別デザイン画作成／着色										
11	素材別デザイン画作成／着色										
12	素材別デザイン画作成／プロポーション、発想、ラフ案										
13	素材別デザイン画作成／下がき 〈ファー、ツイード、アニマル柄など〉										
14	素材別デザイン画作成／着色										
15	素材別デザイン画作成／着色										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・着色用具、筆記用具 ・クロッキー帳、ケント紙 										
履修時の注意	授業で使用する画材を全て準備しておくこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	パターンゼミⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	宮本 真由美	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	後期ではディティールを組み合わせたトップス、ボトムス、ワンピースのパターンの考え方を学んでいきます。										
到達目標	進級制作オリジナルデザインに向けて平面製図ができるようになる。										
授業計画と内容											
1	夏休み課題について										
2	見頃続きの衿について（テーラード）										
3	2枚袖の考え方										
4	台衿つきシャツ										
5	台衿の考え方、バリエーション										
6	パフスリーブブラウス										
7	パフスリーブバリエーション										
8	ワンピースバリエーション①										
9	球技大会										
10	ワンピースバリエーション①										
11	ワンピースバリエーション②										
12	見頃ダーツ操作によるデザインについて①										
13	見頃ダーツ操作によるデザインについて②										
14	まとめ										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	35%	5%	0%					
使用教材・教具	パターンファイル、プロジェクトペーパー、ハサミ、カッター、縮尺定規、パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	ファッションデジタル I			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	長船 圭二	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	ハードの基本的操作方法からバックアップ方法などを学び、Adobe Illustrator ではペンツールなどの基本的オブジェクトの編集方法を学ぶ。写真トレース、ハンガーイラスト、Tシャツデザインなどの制作をおこなう。										
到達目標	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用しての課題制作に取り組む。初級レベルのの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。										
授業計画と内容											
1	ハードの管理とソフトウェアの復習										
2	アパレル業界対応の課題制作・1 (Adobe Illustrator 演習：直線を描く)										
3	アパレル業界対応の課題制作・2 (Adobe Illustrator 演習：曲線を描く)										
4	アパレル業界対応の課題制作・3 (Adobe Illustrator 演習：図形ツール・編集)										
5	アパレル業界対応の課題制作・4 (Adobe Illustrator 演習：文字入力・編集)										
6	アパレル業界対応の課題制作・5 (Adobe Illustrator 演習：写真トレース)										
7	アパレル業界対応の課題制作・6 (Adobe Illustrator 演習：写真トレース)										
8	アパレル業界対応の課題制作・7 (Adobe Illustrator 演習：写真トレース)										
9	アパレル業界対応の課題制作・8 (Adobe Illustrator 演習：写真トレース)										
10	アパレル業界対応の課題制作・9 (Adobe Illustrator 演習：ハンガーイラスト)										
11	アパレル業界対応の課題制作・10 (Adobe Illustrator 演習：ハンガーイラスト)										
12	アパレル業界対応の課題制作・11 (Adobe Illustrator 演習：ハンガーイラスト)										
13	アパレル業界対応の課題制作・12 (Adobe Illustrator 演習：ハンガーイラスト)										
14	アパレル業界対応の課題制作・12 (Adobe Illustrator 演習：ハンガーイラスト)										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン (MacOS) を持参できること。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ヘア・メイク・ネイルⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	浅田弘美	企業 連携	—	科属	FD	学年	1年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	過去にどのようなファッションが流行したのかを調べて、それぞれの時代のヘア・メイクから基礎を学ぶ。										
到達目標	1920年代、1950年代、1960年代に流行したヘアメイク習得。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる。										
授業計画と内容											
1	メイクアップ（ベーシック）										
2	メイクアップ（ベーシック）										
3	メイクアップ（ベーシック）										
4	ヘアアレンジ基礎 アップスタイル										
5	ヘアアレンジ基礎 アップスタイル										
6	ヘア・メイク 1920年代										
7	ヘア・メイク 1950年代										
8	ヘア・メイク 1960年代										
9	ネイルアート										
10	ネイルアート										
11	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
12	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
13	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
14	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	20 %	20 %	0 %	10 %	30 %					
使用教材・教具	・バスタオル、フェイスタオル・ネイルチップ、筆、アクリル絵の具										
履修場の注意	相モデルでのメイクアップ実習。1・2・3年生 複式授業										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在美容室勤務。								

科目名	ライフデザイン②			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	長船 圭二	企業連携	—	科略	FD	学年	1年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	クラスの話し合いや共同作業、個別面談を行います。その他では学校からの連絡などもこの授業で行います。										
到達目標	社会に関心を持ち、他者と協調しながら目標に向かうことができる。										
授業計画と内容											
1	学園祭片付け										
2	ファッションショー対応①										
3	ファッションショー対応②										
4	ファッションショー対応③										
5	ファッションショー対応④										
6	球技大会準備①										
7	球技大会準備②										
8	球技大会準備③										
9	個人面談①										
10	個人面談②										
11	ファッションショー対応⑤										
12	ファッションショー対応⑥										
13	ファッションショー対応⑦										
14	ファッションショー対応⑧										
15	ファッションショー対応⑨										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	20 %	30 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要									

科目名	アパレル CAD II			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	向江 かおり	企業 連携	—	時期	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	平面パターンの取り込み方法（デジタル）。原型を使って、そこからマスターパターンの制作。										
到達目標	パターンの入力（デジタル）から出力まで。平面パターンから立体につながるように理解する										
授業計画と内容											
1	○デジタル（マスターパターン入力）										
2	操作手順説明										
3	パターン入力方法										
4	点の修正・パターン登録										
5	○ハイパーパターンメイキング										
6	①男子シャツ原型										
7	②男子原型										
8	③原型を使ってシャツ制作										
9	基礎知識の徹底										
10	操作・機能説明										
11	操作・機能説明										
12	操作・機能説明										
13	実寸大型紙出力										
14	(プロッター出力方法の説明)										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	45 %	15 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	返却したパターンファイルは品番順にファイリング										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画								

科目名	ウォーキングII			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	橋本典子	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	1	曜日	火
授業内容	身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学ぶ。										
到達目標	進級制作卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用しランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。										
授業計画と内容											
1	柔軟ストレッチ・姿勢の練習										
2	昨年度のファッションショーのDVDを見る										
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習										
4	基本的なウォーキング①										
5	基本的なウォーキング②										
6	半ターンの練習①										
7	半ターンの練習②										
8	Aターンの練習①										
9	Aターンの練習②										
10	Bターンの練習①										
11	Bターンの練習②										
12	撮影（今の状態を確認・修正）										
13	ポージング①										
14	ポージング②										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	0%	30%	70%					
使用教材・教具	スニーカー、ジャージ、女性はヒールの靴										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	工業パターンI			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	*パターンメイキング技術検定筆記に向けての授業 後期のサンプルメイキングで使用する工業パターンの作成*										
到達目標	*パターンメイキング技術検定筆記合格 縫製工場における「量産」のための工業パターン作成*										
授業計画と内容											
1	工業パターンの意味とパターン記号										
2	工業パターンの基礎知識										
3	グレーディングとは										
4	グレーディングとは										
5	グレーディングとは										
6	PM 技術検定問題対応										
7	PM 技術検定問題対応										
8	PM 技術検定問題対応										
9	PM 技術検定問題対応										
10	ジャケットのパターンをトレース										
11	縫代付け・角処理										
12	部分パターンの考え方・作り方										
13	表衿・見返しの展開方法										
14	身頃・二枚袖の裏地の展開方法										
15	ジャケット工業パターンチェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	70 %	0 %	20 %	10 %					
使用教材・教具	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	情報デザイン検定			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	村木 威文	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	情報デザインの5つのカテゴリーである、「考え方」「分析力」「論理力」「表現力」「提案力」について「J検情報デザイン完全対策公式テキスト (JMAMA)」を教科書として学習し、練習課題や過去問題を行うことで、学習効果を確認する。										
到達目標	情報を的確に扱い、正確に第三者に伝えるための知識と技術を身に付けることができ、検定に合格することでその裏付けを得ることができるようになる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション／情報デザイン										
2	情報とモラル／働きかけ力										
3	調査の考え方										
4	調査方法										
5	分析と整理										
6	問題解決の考え方										
7	問題解決手法										
8	情報構造の考え方										
9	情報表現の手法										
10	情報の伝達1										
11	情報の伝達2										
12	評価とフィードバック										
13	筆記試験（検定対策1）										
14	筆記試験（検定対策2）										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	● %	40 %	5● %	10 %					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂版J検情報デザイン完全対策公式テキスト ・筆記用具／付箋（50mm x 50mm 程度のサイズのもの） 										
履修場の注意	あらゆる分野の「デザイン」の基礎力を問う検定の対策講座。検定受験は必須ではない。										
実務経験のある教員による授業科目	●	実務経験概要		J検情報デザイン試験の作問と公式テキストの執筆を行った経験をもとに授業を展開する							

科目名	デザイン画表現Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業 連携	—	科別	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	各コンテストへ出品する作品を制作する。										
到達目標	各コンテストへ出品する作品を制作することで、コンセプトに基づくデザイン画の発想力を習得する。 各コンテストへ出品、および入賞を目指す。										
授業計画と内容											
1	早描き25体、8頭身プロポーションの復習										
2	コンテスト出品作品／YKK ファスニングアワード										
3	コンテスト出品作品／YKK ファスニングアワード										
4	コンテスト出品作品／YKK ファスニングアワード										
5	コンテスト出品作品／※										
6	コンテスト出品作品／※ ※東京新人コンテスト、名古屋ファッションコンテスト										
7	コンテスト出品作品／※ 皮革コンテストなど、開催の有無を確認後、										
8	コンテスト出品作品／※ 担任と相談して決定。										
9	球技大会										
10	コンテスト出品作品／※										
11	コンテスト出品作品／※										
12	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
13	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
14	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
15	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	着彩用具／筆記用具／クロッキー帳／ケント紙										
履修場の注意	授業で使用する画材を全て準備しておくこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	専門学校で20有余年、学生の指導に従事し、コンテスト入賞者を輩出している。								

科目名	デニムジーンズゼミ I			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	○	科属	FD	学年	2年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	基本的な5Pジーンズを縫製することで、仕様や特殊ミシンの使い方を学び、カジュアルウェアの基本を知る。またオリジナルブランドの企画、販売、運営に携わることで製品作りを学ぶ。										
到達目標	5Pジーンズ(ボタンフライ仕様・ファスナー仕様)の仕様を理解し、縫製できるようになる。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	ジーンズの基礎知識・製作するジーンズ(ボタンフライ仕様)のサイズ決め・縫製仕様書制作/Webショップへの出品										
3	裁断/Webショップへの出品										
4	芯貼り・オーバーなど前工程/Webショップへの出品										
5	縫製(前身頃)										
6	縫製(後見頃)										
7	縫製(大股、脇縫い)										
8	縫製(ベルト付け、裾)										
9	裁断、前工程(ファスナー仕様)										
10	縫製(前身頃)										
11	縫製(後見頃)										
12	縫製(大股、脇縫い)										
13	縫製(ベルト付け、裾)										
14	特殊ミシン・仕上げ・採寸										
15	課題提出(ジーンズ2本・縫製仕様書)										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	裁縫用具・PC・筆記用具										
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	ドレス・コスチュームメイキングⅠ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1.5	開講期	前期
担当教員	原田 慶子	企業連携	○	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物(コサージュ、ヘッドドレス、ベール等)の制作、コーディネートも含まれます。										
到達目標	ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。										
授業計画と内容											
1	コンセプト決め、ドレス・コスチュームデザインやシルエットのリサーチ										
2	デザイン画										
3	デザイン画色付けの完成 モデル決め										
4	採寸(ヒール・パニエ・下着の説明)										
5	見本ドレスの説明										
6	実寸パターン										
7	実寸パターン										
8	実寸パターン										
9	実寸パターンチェック										
10	素材を考慮しながらトワル組み立て										
11	素材を考慮しながらトワル組み立て										
12	素材を考慮しながらトワル組み立て										
13	仮縫いチェック・素材選び										
14	フィッティング・パターン修正										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	製図用具・縫製用具										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験								

科目名	パターンゼミⅢ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	藤森 英樹	企業 連携	○	科開	FD	半年	2年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	パターンメイキング技術検定2級合格に向けての授業										
到達目標	パターンメイキング技術検定2級 実技試験合格										
授業計画と内容											
1	検定対応 ジャケット課題1製図										
2	検定対応 ジャケット課題1製図										
3	検定対応 ジャケット課題1製図										
4	検定対応 ジャケット課題1製図										
5	検定対応 ジャケット課題1製図										
6	検定対応 ジャケット課題1製図										
7	検定対応 ジャケット課題1製図										
8	検定対応 ジャケット課題2製図										
9	検定対応 ジャケット課題2製図										
10	検定対応 ジャケット課題2製図										
11	検定対応 ジャケット課題2製図										
12	検定対応 ジャケット課題2製図										
13	検定対応 ジャケット課題2製図										
14	検定対応 ジャケット課題2製図										
15	検定対応 ジャケット課題2製図										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	70%	0%	20%	10%					
使用教材・教具											
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	ビジネスマナー／インターンシップ			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講時期	前期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	○	科略	FD	学年	2年	コマ数	1	曜日	木
授業内容	7月～8月の夏期休暇を利用し5日間～10日間ほどの期間アパレル関連企業にてインターンシップ実習を行う。受け入れ先企業の選定から実習ファイルの準備、打ち合わせ、実習後のレポート作成等を行って行く。										
到達目標	社会の仕組み、ルール、コミュニケーションに必要なマナーを知り、自信を持って就職活動を行う事ができるようになる。アパレル業界の企業形態から企業内の実務知識、職種別の必要技術が本業までに知る事ができる。										
授業計画と内容											
1	ディスカッション（企業実習制度を知る）										
2	企業リサーチ1（全国アパレル企業をリサーチ、リサーチ表3社制作）										
3	企業リサーチ1（岡山アパレル企業をリサーチ、リサーチ表3社制作）										
4	履歴書作成3枚										
5	履歴書作成3枚										
6	インターンシップ受け入れ先決定、インターンシップファイルの作成										
7	実習先打ち合わせ準備／名刺作成										
8	名刺作成										
9	球技大会										
10	名刺作成										
11	ポートフォリオ制作										
12	ポートフォリオ制作										
13	ポートフォリオ制作										
14	SPI 対策										
15	ポートフォリオプレゼン／名刺、ポートフォリオファイル提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	2● %	75 %	● %	5 %	● %					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・SPI 対策本 										
居休場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要									

科目名	ファッションデジタルⅢ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	長船 圭二	企業 連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用し、ファッション企画に関わる制作物に取り組む。										
到達目標	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用しての課題制作に取り組む。中級レベルのの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。										
授業計画と内容											
1	ハードの管理とソフトウェアの復習										
2	アパレル業界対応の課題制作 . 1 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
3	アパレル業界対応の課題制作 . 2 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
4	アパレル業界対応の課題制作 . 3 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
5	アパレル業界対応の課題制作 . 4 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
6	アパレル業界対応の課題制作 . 5 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
7	アパレル業界対応の課題制作 . 6 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
8	アパレル業界対応の課題制作 . 7 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
9	アパレル業界対応の課題制作 . 8 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
10	アパレル業界対応の課題制作 . 9 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
11	アパレル業界対応の課題制作 . 10 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
12	アパレル業界対応の課題制作 . 11 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
13	アパレル業界対応の課題制作 . 12 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
14	アパレル業界対応の課題制作 . 13 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン (MacOS) を持参できること。										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビジネス検定Ⅲ			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	長船 圭二	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定2級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定2級問題集」にて復習をおこなう。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定2級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
授業計画と内容											
1	ファッションビジネスの特性										
2	ファッション生活・ファッション消費										
3	ファッション産業1										
4	ファッション産業2										
5	ファッションマーケティング1										
6	ファッションマーケティング1										
7	ファッションマーチャンドライジング1										
8	ファッションマーチャンドライジング2										
9	アパレル生産と物流										
10	ファッション流通										
11	販売管理とプロモーション										
12	キャリアプラン										
13	ビジネス基礎知識										
14	過去問題										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	20 %	60 %	20 %	● %					
使用教材・教具											
居休場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビューティーⅠ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	浅田 弘美	企業 連携	—	科属	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	メイクアップの技術を身につける。アップ用ウィッグを使用して編み込みを習得。ネイルアート作品制作										
到達目標	テーマに沿い、モデルの個性を生かしたメイクアップを仕上げる。アップスタイル ネイルアート										
授業計画と内容											
1	メイクアップ基礎・復習1 スキンケア										
2	メイクアップ基礎・復習2 ベースメイクアップ										
3	メイクアップ基礎・復習3 顔の分析										
4	メイクアップ基礎・復習4 立体作り										
5	ヘアアレンジ復習 ヘアピンの留め方、ゴムの結び方、逆毛										
6	ヘアアレンジ復習 編み込み、シニヨン										
7	イメージ別メイクアップ ファッション誌を参考										
8	イメージ別メイクアップ ファッション誌を参考										
9	イメージ別メイクアップ										
10	イメージ別メイクアップ										
11	メイクアップ自由作品										
12	ネイルアート										
13	ネイルアート										
14	ネイルアート										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他		成績評価基準は指標の算出方法による			
100%	20%	10%	30%	0%	10%	実技 30%					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ブランドプロデュースⅠ			分類	専門	形態	実習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	金子 千恵	企業連携	○	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	産学協同での POP UP ショップ計画。出店企画、販促企画、販売										
到達目標	ショップに来店して頂くお客様に向けた販売促進計画や情報収集力、コミュニケーション力、発想力を養いながら、産学共同で立案していく										
授業計画と内容											
1	ポップアップショップ計画の概要										
2	ディスカッション										
3	マーケットリサーチ										
4	企画立案1 (コンセプト・ターゲット・商品内容・PR)										
5	企画立案2 (コンセプト・ターゲット・商品内容・PR)										
6	企画プレゼン										
7	計数、組織編成、外部企業との契約の進め方										
8	サンプル制作、生産発注、仕入れ発注										
9	球技大会										
10	外部交渉1 (発注・販促ツール・什器・利益)										
11	外部交渉2 (発注・販促ツール・什器・利益)										
12	POP UP に向けた準備1										
13	POP UP に向けた準備2										
14	POP UP に向けた準備3										
15	POP UP に向けた準備4										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50 %	30 %	0 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	ライフデザイン③			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	宮本 真由美	企業 連携	○	科別	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	後期進級制作・卒業制作ファッションショーに向け、テーマ設定、デザインコンセプト立案、会場構成、演出に至るまで一連の計画を学習する。										
到達目標	作品発表の為のコンセプト立案からスケジュールの計画、プレゼンテーション能力が養われる。また、学年を超えてのコミュニケーション能力も身につく。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション／前期目標シート／面談										
2	昨年度の振り返り、今年度ファッションショーについて										
3	全体テーマ、コンセプト、担当配置										
4	イメージマッププレゼン／チーム分け										
5	第1回デザイン画発表										
6	シャツドレス制作										
7	シャツドレス制作										
8	第2回デザイン画発表										
9	球技大会										
10	シャツドレス制作										
11	第3回デザイン画発表										
12	ショーの構成／モデル振り分け／スポンサーについて										
13	シャツドレス頼制作										
14	シャツドレス制作										
15	ファッションショーに必要な資料提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	30 %	35 %	0 %	5 %	0 %					
使用教材・教具	その都度連絡										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要									

科目名	立体裁断			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業 選持	—	科目	FD	学年	2年3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	立体裁断の基礎知識と、いくつかの課題に取り組むことで、ピンうちとトワールの扱い方を身につける。										
到達目標	平面パターンを作成するにあたり、完成時の立体物を念頭におきながら作成出来るようになる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション（ボディーの確認とテープはり、原型用のトワール準備と説明）										
2	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
3	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
4	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
5	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
6	平面トレース、組み立て										
7	平面トレース、組み立て										
8	スカートのドレーピング										
9	スカートのドレーピング										
10	スカートのドレーピング										
11	スカートのドレーピング										
12	衿のドレーピング										
13	衿のドレーピング										
14	衿のドレーピング										
15	衿のドレーピング										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	洋裁用具一式、シーチング、パターン用紙										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	専門学校で20有余年、学生の指導に従事し、コンテスト入賞者を輩出している。								

科目名	3D モデリング I			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	FD2年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	ファッション 3D モデリストの基礎										
到達目標	3DCAD/CLO を使用しての着想シュミレーションができるようになる										
授業計画と内容											
1	画面構成・ライブラリーの使用方法・ビュー/パーツ制御										
2	シュミレーション・衣装の修正・パターンの配置										
3	縫い合わせの設定・縫い合わせの編集・粒子間隔										
4	アパレル CAD からのパターン変換・アバターのサイズ変更・アバターに変換										
5	基本的なワークフロー・左右対称パターンの設定・保存										
6	生地の設定・固定と非アクティブ・衣装の修正										
7	レイヤーの設定とコーディネート・パターンの表と裏・サブレイヤ設定										
8	2D 画面でのパターンの配置関係・複数同士の縫い合わせ・ドレスの作成とデザイン変更										
9	ノースリーブシャツの作成とデザイン変更・ステッチとグラフィックの追加・折り曲げ角度とプリーツ										
10	ポロシャツの作成・圧力機能で膨らみを表現する										
11	パンツの作成・COLORWAY モード										
12	ANIMATION モード										
13	デザインを変更する I										
14	デザインを変更する II										
15	レンダリング										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	20 %	80 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	アパレル CAD Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	向江 かおり	企業 連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	前期からのレベルアップを目指し、複合機能・縫い代付等 機能の操作説明										
到達目標	ハイパーパターンメイキングの機能をフル活用できるようになる										
授業計画と内容											
1	ハイパーパターンメイキング										
2	※複合機能 操作説明										
3	・ボタンホール										
4	・ピントック										
5	・ギャザー 等										
6	※縫い代付 操作説明										
7	・ラベル入力										
8	・コード変更										
9	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
10	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
11	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
12	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
13	属性設定 (P 化) ⇒ 縫い代付 ⇒ 登録										
14	パターパターンファイル出力・パターン出力										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	45 %	15 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	返却したパターンファイルは品番順にファイリング										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画								

科目名	サンプルメイキング			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	レディーステーラードジャケットの裁断・縫製の習得										
到達目標	レディーステーラードジャケット完成										
授業計画と内容											
1	裁断 1										
2	裁断 2										
3	縫製 1										
4	縫製 2										
5	縫製 3										
6	縫製 4										
7	縫製 5										
8	縫製 6										
9	縫製 7										
10	縫製 8										
11	縫製 9										
12	縫製 10										
13	縫製 11										
14	まとめ										
15	完成チェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具	ジャケット用中肉ウール素材 2.5 m										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	サンプルメイキング			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	レディステーラードジャケットの裁断・縫製の習得										
到達目標	レディーステーラードジャケット完成										
授業計画と内容											
1	裁断 1										
2	裁断 2										
3	縫製 1										
4	縫製 2										
5	縫製 3										
6	縫製 4										
7	縫製 5										
8	縫製 6										
9	縫製 7										
10	縫製 8										
11	縫製 9										
12	縫製 10										
13	縫製 11										
14	まとめ										
15	完成チェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具	ジャケット用中肉ウール素材 2.5 m										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	進級制作Ⅱ			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	姫路 侑真	企業 連携	—	科属	FD	学年	2年	コマ数	6	曜日	月
授業内容	オリジナルデザインによるパターン、縫製、フィッティング、補正、コーディネイトに至るまでの一連の作業を行う。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。										
到達目標	オリジナルデザインによるグレードの高い作品制作ができる。ショーを企画する事で、コミュニケーション能力、計画性、協調性が身につく。										
授業計画と内容											
1	実寸パターン作成										
2	実寸パターン作成										
3	パターン修正										
4	仮縫い										
5	裁断										
6	本縫い										
7	本縫い										
8	本縫い										
9	本縫い										
10	本縫い										
11	本縫い										
12	コーディネイト・小物作成										
13	コーディネイト・小物作成										
14	コーディネイトチェック										
15	まとめ/採点										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	デザイン画表現Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業 連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	テーマ別にバリエーションを5点ずつ考え、デザイン画におこす。										
到達目標	作品の完成。										
授業計画と内容											
1	ユニフォームのバリエーション作品5点／発想、ラフ案										
2	ユニフォームのバリエーション作品5点／デザイン決定、下がり										
3	ユニフォームのバリエーション作品5点／下がり										
4	ユニフォームのバリエーション作品5点／着彩										
5	ユニフォームのバリエーション作品5点／着彩										
6	スポーツウェアのバリエーション作品5点／発想、ラフ案										
7	スポーツウェアのバリエーション作品5点／デザイン決定、下がり										
8	スポーツウェアのバリエーション作品5点／下がり										
9	スポーツウェアのバリエーション作品5点／着彩										
10	スポーツウェアのバリエーション作品5点／着彩										
11	フォーマルウェアのバリエーション作品5点／発想、ラフ案										
12	フォーマルウェアのバリエーション作品5点／デザイン決定、下がり										
13	フォーマルウェアのバリエーション作品5点／下がり										
14	フォーマルウェアのバリエーション作品5点／着彩										
15	フォーマルウェアのバリエーション作品5点／着彩										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩用具、筆記用具 ・クロッキー帳、ケント紙 										
履修場の注意	授業で使用する画材を全て準備しておくこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	デニムジーンズゼミⅡ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	○	科略	FD	学年	2年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	オリジナルブランドの中でのアパレル企画から製造までを自ら行う。また同じ製品を数着縫うことで量産するときの効率を考えながら縫製する。										
到達目標	製品作りの企画、パターン製図、縫製、加工までの一連を自らの手で行うことで理解する。またブランドの中で企画、デザインをする力を培う。										
授業計画と内容											
1	ディスカッション・新作のコンセプト企画										
2	デザイン画・縫製仕様書										
3	パターン製図										
4	パターン製図										
5	仮縫い・修正										
6	修正										
7	裁断										
8	縫製										
9	縫製										
10	縫製										
11	縫製										
12	仕上げ・採寸・加工依頼書										
13	下げ札・展示企画										
14	加工後仕上げ・採寸										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	0 %	70 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具	裁縫道具・筆記用具・PC										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	ドレス・コスチュームメイキングⅡ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	原田 慶子	企業連携	○	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物(コサージュ、ヘッドドレス、ベール等)の制作、コーディネートも含まれます。										
到達目標	ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。										
授業計画と内容											
1	本縫いパターン(パーツパターン)作成										
2	本縫いパターン(パーツパターン)作成										
3	裁断										
4	裁断										
5	本縫い										
6	本縫い										
7	本縫い										
8	本縫い										
9	本縫い										
10	本縫い										
11	本縫い										
12	本縫い										
13	完成・小物作りコーディネート										
14	完成・小物作りコーディネート										
15	完成・小物作りコーディネート、作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	製図用具・縫製用具										
履修時の注意	形態 実務家授業 企業連携 ○ ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	パターンゼミⅣ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	宮本 真由美	企業 連携	—	科属	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	パターンメイキング技術を高めるとともに、袖や衿、パンツなど様々なデザインの製図を学ぶ。またパターンをより理解を深める為この縮尺製図をもとに CAD 授業にて製図を行う。										
到達目標	様々なデザインに対応できるパターンメイキングを習得。パターンと縫製を行うことでより理解が深まる。										
授業計画と内容											
1	衿について/様々な衿の製図 セーラーカラー、ボートネック、Vネック										
2	タイカラー、ボーカラー、オブロングカラー										
3	ハイネック（見頃続き）、カウルネック、パーカー										
4	袖について/様々な袖の製図 フレンチスリーブ、キモノスリーブ										
5	ドルマンスリーブ、ラグランスリーブ、エポーレットスリーブ										
6	ヨークスリーブ、マチ付き袖										
7	コート/ケープ										
8	パンツ/スリムパンツ										
9	ワイドパンツ										
10	サルエルパンツ										
11	タックパンツ										
12	トワールによる組み立て①										
13	トワールによる組み立て②										
14	トワールによる組み立て③										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	5 %	15 %					
使用教材・教具	パターンノート、縮尺製図用具、洋裁用具一式、実寸製図用具、誌上パターン塾 Vol.1、誌上パターン塾 Vol.3、服飾造形講座④、服飾造形講座⑤										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にて MD 業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	美容技術 I			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	浅田 弘美	企業連携	—	科略	FD	学年	FD 2年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	爪の構造、ネイルケア、皮膚の仕組み、顔の分析、標準のプロポーション、色などの基礎知識、技術を習得										
到達目標	ネイリスト検定3級・メイクアップ検定ベーシックレベル習得										
授業計画と内容											
1	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
2	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
3	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
4	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
5	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
6	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
7	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
8	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
9	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
10	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
11	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
12	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
13	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
14	ネイリスト技能検定3級対等 / メイクアップ技能検定対応										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	30 %	20 %	10 %	実技 40 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ファッションデジタルⅣ			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	長舩 圭二	企業 連携	—	時期	FD	学年	2年	コマ数	1	曜日	木
授業内容	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用し、ファッション企画に関わる制作物に取り組む。										
到達目標	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用しての課題制作に取り組む。中級レベルのの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。										
授業計画と内容											
1	ハードの管理とソフトウェアの復習										
2	アパレル業界対応の課題制作. 1 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
3	アパレル業界対応の課題制作. 2 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
4	アパレル業界対応の課題制作. 3 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
5	アパレル業界対応の課題制作. 4 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
6	アパレル業界対応の課題制作. 5 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
7	アパレル業界対応の課題制作. 6 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
8	アパレル業界対応の課題制作. 7 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
9	アパレル業界対応の課題制作. 8 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
10	アパレル業界対応の課題制作. 9 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
11	アパレル業界対応の課題制作. 10 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
12	アパレル業界対応の課題制作. 11 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
13	アパレル業界対応の課題制作. 12 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
14	アパレル業界対応の課題制作. 13 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン (MacOS) を持参できること。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビジネス検定Ⅳ			分類	専門	形態	講義	単位数	0.5	開講期	3
担当教員	金子 千恵	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	1	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定3級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッション造形科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定3級問題集」にて復習を行う。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定3級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
授業計画と内容											
1	ファッション造形科目 .1										
2	ファッション造形科目 .2										
3	ファッション造形科目 .3										
4	ファッション造形科目 .4										
5	ファッション造形科目 .5										
6	検定対策1										
7	検定対策2										
8	テスト										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	60 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	ファッションビジネス能力検定2級公式テキスト										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	ファッションビューティーⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	浅田 弘美	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	自由な発想でイメージしたデザインを仕上げ、写真撮影を行う。ファッションショーに向けてグループでイメージを立案。										
到達目標	トータルコーディネートしたイメージをモデルに仕上げ、写真撮影を行う。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる。										
授業計画と内容											
1	イメージ別 メイクアップ										
2	イメージ別 メイクアップ										
3	イメージ別 メイクアップ										
4	ヘアアレンジ ベーシック										
5	ヘアアレンジ ベーシック										
6	1920年代 (復習)										
7	1950年代 (復習)										
8	1960年代 (復習)										
9	ネイルアート										
10	ネイルアート										
11	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
12	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
13	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
14	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	20 %	20 %	0 %	10 %	実技 30 %					
使用教材・教具	・バスタオル、フェイスタオル・ネイルチップ、筆、アクリル絵の具										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ブランドプロデュースⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	金子 千恵	企業連携	○	科目	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	トレンドを理解し、ショップに来店して頂くお客様に向けた企画全般を行う。										
到達目標	オリジナルショップ運営を行う上で必要な企画、仕入れ、販売促進、店頭販売、返品、売上、集計をトータルで行う力を身につける。産学協同授業を通じてビジネス力を習得する。										
授業計画と内容											
1	POP UP ショップ準備1										
2	POP UP ショップ準備2										
3	POP UP ショップ準備3										
4	POP UP ショップ準備4										
5	計数管理1										
6	計数管理2										
7	報告資料作成1										
8	報告資料作成2										
9	報告資料作成3										
10	球技大会										
11	報告資料作成4										
12	チームまとめ1										
13	チームまとめ2										
14	プレゼン発表										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	0 %	40 %	0 %	10 %	20 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	ライフデザイン④			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	宮本 真由美・金子 千恵	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	ファッションショーに向けてのスケジュール立て、各担当の役割分担、パンフレット・チラシの制作などを行う。										
到達目標	学年を超えてのコミュニケーション能力が養われる。またショーを企画する事で計画性や協調性が身につく。										
授業計画と内容											
1	個人面談										
2	個人面談										
3	ファッションショー対応										
4	ファッションショー対応										
5	ファッションショー対応										
6	ファッションショー対応										
7	ファッションショー対応										
8	ファッションショー対応										
9	球技大会										
10	ファッションショー対応										
11	ファッションショー対応										
12	ファッションショー対応										
13	ファッションショー対応										
14	ファッションショー対応										
15	課題採点										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	20 %	30 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	アパレル CAD IV			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	向江 かおり	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	1年2年で学習した平面から立体パターンの制作の逆の考え方で立体（既製服）から平面のパターン制作の学習をする										
到達目標	既製服から正確なパターン作り（ラヴオフ）ができるようになる										
授業計画と内容											
1	ハイパーパターンメイキング										
2	ハイパーパターンメイキング	既製服からパターン制作（ラヴオフ）									
3	ハイパーパターンメイキング	パターンを作るための採寸方法									
4	ハイパーパターンメイキング	修正方法の説明									
5	ハイパーパターンメイキング	エプロン他 3～5型									
6	ハイパーパターンメイキング	エプロン他 3～5型									
7	ハイパーパターンメイキング	エプロン他 3～5型									
8	マーキング（型入れ）	効率の良い型入れができるよう合理的な入力方法の学習									
9	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
10	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
11	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
12	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
13	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
14	ジャケット（裏付） 他	3～5型									
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	45 %	15 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	返却したパターンファイルは品番順にファイリング										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験者、フリーランスで商品企画								

科目名	ウォーキングⅢ			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	橋本 典子	企業 連携	—	科属	FD	学年	3年	コマ数	1	曜日	火
授業内容	身体の使い方、姿勢の練習、基本的な歩き方、ターンの仕方、ポージングなどを学び、後輩や外部モデルに指導が出来るようになる。										
到達目標	進級制作卒業制作ファッションショーのステージで自分達が制作した衣装を着用しランウェイでウォーキング及びポージングが出来る事。また、外部モデルや後輩に指導が出来るようになること。										
授業計画と内容											
1	柔軟ストレッチ・姿勢の練習										
2	昨年度ファッションショーのDVDを見る										
3	柔軟ストレッチ・姿勢の練習										
4	基本的なウォーキング①										
5	基本的なウォーキング②指導方法										
6	半ターンの練習①										
7	半ターンの練習②指導方法										
8	Aターンの練習①										
9	Aターンの練習②指導方法										
10	Bターンの練習①										
11	Bターンの練習②指導方法										
12	撮影（今の状態を確認・修正）										
13	ポージング①										
14	ポージング②指導方法										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	30 %	70 %					
使用教材・教具	スニーカー、ジャージ、女性はヒールの靴										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要		—							

科目名	工業パターンⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	藤森 英樹	企業 連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	“パターンメイキング技術検定筆記に向けての授業 後期のサンプルメイキングで使用する工業パターンの作成”										
到達目標	“パターンメイキング技術検定筆記合格 縫製工場における「量産」のための工業パターン作成”										
授業計画と内容											
1	工業パターンの意味とパターン記号										
2	工業パターンの基礎知識										
3	グレーディングとは										
4	グレーディングとは										
5	グレーディングとは										
6	PM 技術検定問題対応										
7	PM 技術検定問題対応										
8	PM 技術検定問題対応										
9	PM 技術検定問題対応										
10	ジャケットのパターンをトレース										
11	縫代付け・角処理										
12	部分パターンの考え方・作り方										
13	表衿・見返しの展開方法										
14	身頃・二枚袖の裏地の展開方法										
15	ジャケット工業パターンチェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	70 %	0 %	20 %	10 %					
使用教材・教具	パターンメイキング技術検定3級ガイドブック										
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	デザイン画表現Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	齋藤ゆき子	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	各コンテストへ出品する作品を制作する。										
到達目標	各コンテストへ出品、および入賞を目指す。										
授業計画と内容											
1	早描き25体、8頭身プロポーションの復習										
2	コンテスト出品作品／YKKファスニングアワード										
3	コンテスト出品作品／YKKファスニングアワード										
4	コンテスト出品作品／YKKファスニングアワード										
5	コンテスト出品作品／※										
6	コンテスト出品作品／※ ※東京新人コンテスト、名古屋ファッションコンテスト										
7	コンテスト出品作品／※ 皮革コンテストなど、開催の有無を確認後、										
8	コンテスト出品作品／※ 担任と相談して決定。										
9	球技大会										
10	コンテスト出品作品／※										
11	コンテスト出品作品／※										
12	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
13	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
14	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
15	コンテスト出品作品／全国ファッション画コンクール										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	<ul style="list-style-type: none"> ・着彩用具、筆記用具 ・クロッキー帳、ケント紙 										
履修時の注意	授業で使用する画材を全て準備しておくこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	デニムジーンズゼミⅢ			分類	実務(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	○	科 格	FD	学 年	3年	コマ割	4	曜 日	火
授業内容	カジュアルウェアを企画する力、パターンの製図から縫製までの技術を身につける。										
到達目標	自らデザインしたボトムの仕様を考え、縫製することで応用力を培う。										
授業計画と内容											
1	1年生研修										
2	オリジナルデザインの企画・縫製仕様書作成／Webショップへの出品										
3	パターン製図／Webショップへの出品										
4	パターン製図／Webショップへの出品										
5	パターン製図										
6	仮縫い・フィッティング										
7	修正										
8	裁断										
9	縫製										
10	縫製										
11	縫製										
12	縫製										
13	縫製										
14	仕上げ										
15	課題提出（オリジナルウェア、縫製仕様書）										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	縫製用具・筆記用具・PC										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	ドレス・コスチュームメイキングⅢ			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1.5	開講期	前期
担当教員	原田 慶子	企業 連携	○	科別	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物(コサージュ、ヘッドドレス、ベール等)の制作、コーディネートも含まれます。										
到達目標	ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。										
授業計画と内容											
1	コンセプト決め、ドレス・コスチュームデザインやシルエットのリサーチ										
2	デザイン画										
3	デザイン画色付けの完成 モデル決め										
4	採寸(ヒール・パニエ・下着の説明)										
5	見本ドレスの説明										
6	実寸パターン										
7	実寸パターン										
8	実寸パターン										
9	実寸パターンチェック										
10	素材を考慮しながらトワル組み立て										
11	素材を考慮しながらトワル組み立て										
12	素材を考慮しながらトワル組み立て										
13	仮縫いチェック・素材選び										
14	フィッティング・パターン修正										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	製図用具・縫製用具										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験								

科目名	パターンゼミV			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	宮本 真由美	企業 連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	アパレル企業にパターンメーカーとして、より実践的な技術を取得する。										
到達目標	パターンメイキング技術検定1級にチャレンジ。										
授業計画と内容											
1	ジャケット製図（過去問題による）										
2	ジャケット製図（過去問題による）										
3	ジャケット製図（過去問題による）										
4	ジャケット製図（過去問題による）										
5	ジャケット製図（過去問題による）										
6	縫い代つけ（工業パターン）										
7	縫い代つけ（工業パターン）										
8	縫い代つけ（工業パターン）										
9	縫い代つけ（工業パターン）										
10	縫い代つけ（工業パターン）										
11	縫製仕様書作成										
12	縫製仕様書作成										
13	縫製仕様書作成										
14	縫製仕様書作成										
15	立体（半身）、縫製仕様書提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	70 %	0 %	5 %	25 %					
使用教材・教具	・製図用具、縫製用具										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業にてMD業務、個人事業にてユニホームパターンを経験								

科目名	ファッションデジタルV			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	長舩 圭二	企業 連携	—	科目	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用し、ファッション企画に関わる高度な制作物に取り組む。										
到達目標	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用しての課題制作に取り組む。中級レベルのの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。										
授業計画と内容											
1	ハードの管理とソフトウェアの復習										
2	アパレル業界対応の課題制作 . 1 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
3	アパレル業界対応の課題制作 . 2 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
4	アパレル業界対応の課題制作 . 3 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
5	アパレル業界対応の課題制作 . 4 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
6	アパレル業界対応の課題制作 . 5 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
7	アパレル業界対応の課題制作 . 6 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
8	アパレル業界対応の課題制作 . 7 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
9	アパレル業界対応の課題制作 . 8 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
10	アパレル業界対応の課題制作 . 9 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
11	アパレル業界対応の課題制作 . 10 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
12	アパレル業界対応の課題制作 . 11 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
13	アパレル業界対応の課題制作 . 12 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
14	アパレル業界対応の課題制作 . 13 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン (MacOS) を持参できること。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビジネス検定V			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	長船 圭二	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定2級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定2級問題集」にて復習をおこなう。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定2級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
	授業計画と内容										
1	ファッションビジネスの特性										
2	ファッション生活・ファッション消費										
3	ファッション産業1										
4	ファッション産業2										
5	ファッションマーケティング1										
6	ファッションマーケティング1										
7	ファッションマーチャンドライジング1										
8	ファッションマーチャンドライジング2										
9	アパレル生産と物流										
10	ファッション流通										
11	販売管理とプロモーション										
12	キャリアプラン										
13	フビジネス基礎知識										
14	過去問題										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	60 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビューティーⅢ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	浅田 弘美	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	メイクアップの技術を身につける。アップ用ウィッグを使用して編み込みを習得。ネイルアート作品制作										
到達目標	テーマに沿い、モデルの個性を生かしたメイクアップを仕上げる。アップスタイル ネイルアート										
授業計画と内容											
1	メイクアップ基礎・復習1 スキンケア										
2	メイクアップ基礎・復習2 ベースメイクアップ										
3	メイクアップ基礎・復習3 顔の分析										
4	メイクアップ基礎・復習4 立体作り										
5	ヘアアレンジ復習 ヘアピンの留め方、ゴムの結び方、逆毛										
6	ヘアアレンジ復習 編み込み、シニヨン										
7	イメージ別メイクアップ ファッション誌を参考										
8	イメージ別メイクアップ ファッション誌を参考										
9	イメージ別メイクアップ										
10	イメージ別メイクアップ										
11	メイクアップ自由作品										
12	ネイルアート										
13	ネイルアート										
14	ネイルアート										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	10 %	30 %	0 %	10 %	実技 30 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ブランドプロデュースⅢ			分類	専門	形態	実習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	金子 千恵	企業 連携	○	科別	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	産学協同でのPOP UP ショップ計画。出店企画、販促企画、販売										
到達目標	ショップに来店して頂くお客様に向けた販売促進計画や情報収集力、コミュニケーション力、発想力を養いながら、産学共同で立案していく										
授業計画と内容											
1	ポップアップショップ計画の概要										
2	ディスカッション										
3	マーケットリサーチ										
4	企画立案1 (コンセプト・ターゲット・商品内容・PR)										
5	企画立案2 (コンセプト・ターゲット・商品内容・PR)										
6	企画プレゼン										
7	計数、組織編成、外部企業との契約の進め方										
8	サンプル制作、生産発注、仕入れ発注										
9	球技大会										
10	外部交渉1 (発注・販促ツール・什器・利益)										
11	外部交渉2 (発注・販促ツール・什器・利益)										
12	POP UP に向けた準備1										
13	POP UP に向けた準備2										
14	POP UP に向けた準備3										
15	POP UP に向けた準備4										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50 %	30 %	0 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具											
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	ライフデザイン⑤			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	宮本 真由美	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	後期進級制作・卒業制作ファッションショーに向け、テーマ設定、デザインコンセプト立案、会場構成、演出に至るまで一連の計画を学習する。										
到達目標	作品発表の為のコンセプト立案からスケジュールの計画、プレゼンテーション能力が養われる。また、学年を超えてのコミュニケーション能力も身につく。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション／前期目標シート／面談										
2	昨年度の振り返り、今年度ファッションショーについて										
3	全体テーマ、コンセプト、担当配置										
4	イメージマッププレゼン／チーム分け										
5	第1回デザイン画発表										
6	シャツドレス頼制作										
7	シャツドレス頼制作										
8	第2回デザイン画発表										
9	球技大会										
10	シャツドレス制作										
11	第3回デザイン画発表										
12	ショーの構成／モデル振り分け／スポンサーについて										
13	シャツドレス制作										
14	シャツドレス制作										
15	ファッションショーに必要な資料提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	30 %	35 %	0 %	5 %	0 %					
使用教材・教具	その都度連絡										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要									

科目名	立体裁断			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業 連携	—	科目	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	立体裁断の基礎知識と、いくつかの課題に取り組むことで、ピンうちとトワールの扱い方を身につける。										
到達目標	平面パターンを作成するにあたり、完成時の立体物を念頭におきながら作成出来るようになる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション（ボディーの確認とテープはり、原型用のトワール準備と説明）										
2	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
3	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
4	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
5	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
6	平面トレース、組み立て										
7	平面トレース、組み立て										
8	スカートのドレーピング										
9	スカートのドレーピング										
10	スカートのドレーピング										
11	スカートのドレーピング										
12	衿のドレーピング										
13	衿のドレーピング										
14	衿のドレーピング										
15	衿のドレーピング										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	洋裁用具一式、シーチング、パターン用紙										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	専門学校で20有余年、学生の指導に従事し、コンテスト入賞者を輩出している。								

科目名	立体裁断			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業 選持	—	科目	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	立体裁断の基礎知識と、いくつかの課題に取り組むことで、ピンうちとトワールの扱い方を身につける。										
到達目標	平面パターンを作成するにあたり、完成時の立体物を念頭におきながら作成出来るようになる。										
授業計画と内容											
1	オリエンテーション（ボディーの確認とテープはり、原型用のトワール準備と説明）										
2	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
3	ゆるみなし原型のドレーピング（トップ）										
4	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
5	ゆるみなし原型のドレーピング（ボトム）										
6	平面トレース、組み立て										
7	平面トレース、組み立て										
8	スカートのドレーピング										
9	スカートのドレーピング										
10	スカートのドレーピング										
11	スカートのドレーピング										
12	衿のドレーピング										
13	衿のドレーピング										
14	衿のドレーピング										
15	衿のドレーピング										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	洋裁用具一式、シーチング、パターン用紙										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	専門学校で20有余年、学生の指導に従事し、コンテスト入賞者を輩出している。								

科目名	3DモデリングⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業 連携	—	時期	FD	学年	FD3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	ファッション3Dモデリストの基礎										
到達目標	3DCAD/CLO を使用しての着想シュミレーションができるようになる										
授業計画と内容											
1	画面構成・ライブラリーの使用方法・ビュー/パーツ制御										
2	シュミレーション・衣装の修正・パターンの配置										
3	縫い合わせの設定・縫い合わせの編集・粒子間隔										
4	アパレルCADからのパターン変換・アバターのサイズ変更・アバターに変換										
5	基本的なワークフロー・左右対称パターンの設定・保存										
6	生地の設定・固定と非アクティブ・衣装の修正										
7	レイヤーの設定とコーディネート・パターンの表と裏・サブレイヤ設定										
8	2D画面でのパターンの配置関係・複数同士の縫い合わせ・ドレスの作成とデザイン変更										
9	ノースリーブシャツの作成とデザイン変更・ステッチとグラフィックの追加・折り曲げ角度とプリーツ										
10	ポロシャツの作成・圧力機能で膨らみを表現する										
11	パンツの作成・COLORWAYモード										
12	ANIMATIONモード										
13	デザインを変更するⅠ										
14	デザインを変更するⅡ										
15	レンダリング										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	0%	20%	80%					
使用教材・教具											
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	アパレル CAD V			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	向江 かおり	企業 連携	—	科別	FD	学年	2年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	前期からのレベルアップを目指し、複合機能・縫い代付等 機能の操作説明										
到達目標	ハイパーパターンメイキングの機能をフル活用できるようになる										
授業計画と内容											
1	ハイパーパターンメイキング										
2	※複合機能 操作説明										
3	・ボタンホール										
4	・ピンタック										
5	・ギャザー 等										
6	※縫い代付 操作説明										
7	・ラベル入力										
8	・コード変更										
9	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
10	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
11	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
12	単体・複合機能を組み合わせたパターン制作										
13	属性設定 (P 化) → 縫い代付 → 登録										
14	パターンパターンファイル出力・パターン出力										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	45 %	15 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	返却したパターンファイルは品番順にファイリング										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業でデザイナー・パタンナー経験後、フリーランスで商品企画								

科目名	サンプルメイキング			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	2年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	レディーステーラードジャケットの裁断・縫製の習得										
到達目標	レディーステーラードジャケット完成										
授業計画と内容											
1	裁断 1										
2	裁断 2										
3	縫製 1										
4	縫製 2										
5	縫製 3										
6	縫製 4										
7	縫製 5										
8	縫製 6										
9	縫製 7										
10	縫製 8										
11	縫製 9										
12	縫製 10										
13	縫製 11										
14	まとめ										
15	完成チェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具	ジャケット用中肉ウール素材 2.5 m										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	サンプルメイキング			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤森 英樹	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	レディーステーラードジャケットの裁断・縫製の習得										
到達目標	レディーステーラードジャケット完成										
授業計画と内容											
1	裁断 1										
2	裁断 2										
3	縫製 1										
4	縫製 2										
5	縫製 3										
6	縫製 4										
7	縫製 5										
8	縫製 6										
9	縫製 7										
10	縫製 8										
11	縫製 9										
12	縫製 10										
13	縫製 11										
14	まとめ										
15	完成チェック										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	10 %	10 %					
使用教材・教具	ジャケット用中肉ウール素材 2.5 m										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	高級既製服工場での経験およびパターンスタジオシナジー代表								

科目名	卒業制作			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	6	曜日	月
授業内容	オリジナルデザインによるパターン、縫製、フィッティング、補正、コーディネイトに至るまでの一連の作業を行う。それと同時にショーの構成、音楽、演出、ヘアメイク等各担当がリーダーシップをとり、ショー全体の企画を行う。										
到達目標	オリジナルデザインによるグレードの高い作品制作ができる。ショーを企画する事で、コミュニケーション能力、計画性、協調性が身につく。										
授業計画と内容											
1	実寸パターン作成										
2	実寸パターン作成										
3	パターン修正										
4	仮縫い										
5	裁断										
6	本縫い										
7	本縫い										
8	本縫い										
9	本縫い										
10	本縫い										
11	本縫い										
12	コーディネイト・小物作成										
13	コーディネイト・小物作成										
14	コーディネイトチェック										
15	まとめ/採点										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	デザイン画表現V			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	齋藤 ゆき子	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	テーマ別に、様々な表現の仕方を身につけ、作品を完成させる。										
到達目標	作品の完成。										
授業計画と内容											
1	点描作品／発想、ラフ案										
2	点描作品／下がき										
3	点描作品／制作										
4	点描作品／制作										
5	コラージュ作品／発想、ラフ案										
6	コラージュ作品／下がき										
7	コラージュ作品／制作										
8	コラージュ作品／制作										
9	マチエール作品／発想、ラフ案										
10	マチエール作品／下がき										
11	マチエール作品／制作										
12	マチエール作品／制作										
13	ファッション雑誌のイラスト作品／発想、ラフ案、下がき										
14	ファッション雑誌のイラスト作品／制作										
15	ファッション雑誌のイラスト作品／制作										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	・着彩用具、筆記用具・クロッキー帳、ケント紙										
履修時の注意	授業で使用する画材を全て準備しておくこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	デニムジーンズゼミⅣ		分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	科目	FD	学年	3年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	オリジナルブランドの中でリーダーシップを持ち、アパレル企画から製造までを自ら行う。また同じ製品を数着縫うことで量産するときの効率を考えながら縫製する。									
到達目標	製品作りの企画、パターン製図、縫製、加工までの一連を自らの手で行うことで理解し、それを応用する力を身につける。またブランドの中で企画、デザインをする力を培う。									
授業計画と内容										
1	ディスカッション・新作のコンセプト企画									
2	デザイン画・縫製仕様書									
3	パターン製図									
4	パターン製図									
5	仮縫い・修正									
6	修正									
7	裁断									
8	縫製									
9	縫製									
10	縫製									
11	縫製									
12	仕上げ・採寸・加工依頼書									
13	下げ札・展示企画									
14	加工後仕上げ・採寸									
15	課題提出									
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による			
100%	20%	0%	70%	0%	10%	0%				
使用教材・教具	裁縫道具・筆記用具・PC									
履修場の注釈										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務							

科目名	ドレス・コスチュームメイキングⅣ			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	原田 慶子	企業 連携	○	材料	FD	学年	3年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ドレスの構造、素材の種類等を知り、1年を通してドレス・コスチュームを制作。制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法を学びます。また小物(コサージュ、ヘッドドレス、ベール等)の制作、コーディネートも含まれます。										
到達目標	ドレス・コスチュームの構造と、どのような方法で美しい服を仕上げる事ができるか、プロとして必要な知識を得る事ができる。										
授業計画と内容											
1	本縫いパターン(パーツパターン)作成										
2	本縫いパターン(パーツパターン)作成										
3	裁断										
4	裁断										
5	本縫い										
6	本縫い										
7	本縫い										
8	本縫い										
9	本縫い										
10	本縫い										
11	本縫い										
12	本縫い										
13	完成・小物作りコーディネート										
14	完成・小物作りコーディネート										
15	完成・小物作りコーディネート、作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	製図用具・縫製用具										
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ドレスメーカー及びアトリエでの企画デザイン、縫製業務経験								

科目名	美容技術Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	浅田 弘美	企業 連携	—	科属	FD	学年	FD 3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	爪の構造、ネイルケア、皮膚の仕組み、顔の分析、標準のプロポーション、色などの基礎知識、技術を習得										
到達目標	ネイリスト検定3級・メイクアップ検定ベーシックレベル習得										
授業計画と内容											
1	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
2	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
3	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
4	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
5	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
6	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
7	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
8	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
9	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
10	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
11	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
12	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
13	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
14	ネイリスト技能検定3級対等/メイクアップ技能検定対応										
15	前期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	30%	20%	10%	実技 40%					
使用教材・教員											
履修者の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ファッションデジタルVI			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	長船 圭二	企業連携	—	科略	FD	学年	3年	コマ数	1	曜日	木
授業内容	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用し、ファッション企画に関わる高度な制作物に取り組む。										
到達目標	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop を使用しての課題制作に取り組む。中級レベルの課題に取り組むことで Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の操作方法、複合操作がおこなえる。制作物を印刷出力ができる。										
授業計画と内容											
1	ハードの管理とソフトウェアの復習										
2	アパレル業界対応の課題制作：1 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
3	アパレル業界対応の課題制作：2 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
4	アパレル業界対応の課題制作：3 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
5	アパレル業界対応の課題制作：4 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
6	アパレル業界対応の課題制作：5 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
7	アパレル業界対応の課題制作：6 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
8	アパレル業界対応の課題制作：7 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
9	アパレル業界対応の課題制作：8 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
10	アパレル業界対応の課題制作：9 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
11	アパレル業界対応の課題制作：10 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
12	アパレル業界対応の課題制作：11 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
13	アパレル業界対応の課題制作：12 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
14	アパレル業界対応の課題制作：13 (Adobe Illustrator 演習・Adobe Photoshop 演習)										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	Adobe Illustrator・Adobe Photoshop がインストールされたノートパソコン (MacOS) を持参できること。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル SPA メーカーでの店頭業務およびマーケティング経験								

科目名	ファッションビジネス検定Ⅵ			分類	専門	形態	講義	単位数	0.5	開講期	3期
担当教員	金子 千恵	企業 選講	—	科属	FD	学年	3年	コマ数	1	曜日	火
授業内容	ファッションビジネス能力検定3級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッション造形科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定3級問題集」にて復習を行う。										
到達目標	ファッション商品の企画、生産から流通にわたるビジネスの世界に必要な専門知識・技術・ビジネス専門知識の基礎レベルの商品開発ができ、ファッションビジネス能力検定3級ビジネス科目で60%以上の正答率が可能になる。										
授業計画と内容											
1	ファッション造形科目.1										
2	ファッション造形科目.2										
3	ファッション造形科目.3										
4	ファッション造形科目.4										
5	ファッション造形科目.5										
6	検定対策1										
7	検定対策2										
8	テスト										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	20%	60%	20%	0%					
使用教材・教具	ファッションビジネス検定2級公式テキスト										
履修場の注釈											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・webディレクション担当								

科目名	ファッションビューティーⅣ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	浅田 弘美	企業 連携	—	科略	FD	学年	FD 3年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	自由な発想でイメージしたデザインを仕上げ、写真撮影を行う。ファッションショーに向けて各グループでイメージを立案し、意見をまとめ仕上げる。										
到達目標	トータルコーディネートしたイメージをモデルに仕上げ、写真撮影を行う。ファッションショーでは、モデルのメイクを仕上げる。										
授業計画と内容											
1	メイクアップ テーマ別 (ハイブランドの衣装をイメージして)										
2	メイクアップ テーマ別 (ハイブランドの衣装をイメージして)										
3	メイクアップ テーマ別 (ハイブランドの衣装をイメージして)										
4	ヘアアレンジ 応用										
5	ヘアアレンジ										
6	ヘアメイク (自由作品)										
7	ヘアメイク										
8	ヘアメイク										
9	ネイルアート										
10	ネイルアート										
11	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
12	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
13	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
14	ファッションショーに向けて、ヘア・メイク 立案										
15	後期試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	20 %	20 %	0 %	10 %	実技 30 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	CM 広告撮影、ヘアショーでのメイクアップを経験。現在、美容室勤務								

科目名	ブランドプロデュースⅣ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	金子 千恵	企業 連携	○	科略	FD	学年	FD 3年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	トレンドを理解し、ショップに来店していただくお客様に向けた企画全般を行う										
到達目標	オリジナルショップ運営を行う上で必要な企画、仕入れ、販売促進、店頭販売、返品、売上集計をトータルで行う力を身につける。産学協同を通じてビジネス力を習得する										
授業計画と内容											
1	POP UP ショップ準備 1										
2	POP UP ショップ準備 2										
3	POP UP ショップ準備 3										
4	POP UP ショップ準備 4										
5	計数管理 1										
6	計数管理 2										
7	報告資料作成 1										
8	報告資料作成 2										
9	報告資料作成 3										
10	球技大会										
11	報告資料作成 4										
12	チームまとめ 1										
13	チームまとめ 2										
14	プレゼン発表										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	0 %	40 %	0 %	10 %	20 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アパレル企業で企画デザイン担当。独立し現在はアパレルメーカーの企画・販促・web ディレクション担当								

科目名	ライフデザイン⑥			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講時期	後期
担当教員	姫路 侑真	企業 選択	○	科別	FD	学年	3年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	ファッションショーに向けてのスケジュール立て、各担当の役割分担、パンフレット・チラシの制作などを行う。										
到達目標	学年を超えてのコミュニケーション能力が養われる。またショーを企画する事で計画性や協調性が身につく。										
授業計画と内容											
1	個人面談										
2	個人面談										
3	ファッションショー対応										
4	ファッションショー対応										
5	ファッションショー対応										
6	ファッションショー対応										
7	ファッションショー対応										
8	ファッションショー対応										
9	球技大会										
10	ファッションショー対応										
11	ファッションショー対応										
12	ファッションショー対応										
13	ファッションショー対応										
14	ファッションショー対応										
15	課題採点										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	20 %	30 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								